【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】平成30年5月31日(2018.5.31)

【公開番号】特開2017-187218(P2017-187218A)
【公開日】平成29年10月12日(2017.10.12)
【年通号数】公開・登録公報2017-039
【出願番号】特願2016-75908(P2016-75908)
【国際特許分類】
Ｆ２４Ｆ　1/02　(2011.01)
Ｆ２４Ｆ　13/30　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２４Ｆ　1/02　３０１
Ｆ２４Ｆ　1/02　３３１
Ｆ２４Ｆ　1/02　４０１Ａ
Ｆ２４Ｆ　13/30

【手続補正書】
【提出日】平成30年4月16日(2018.4.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
空調機であって、
冷風と暖風とを同時に吹き出すことが可能な送風装置（１０）と、
空調対象となる空間に送風する対象送風部（３１）及び空調対象とはならない空間に送風する非対象送風部（３２）を有する送風ダクト（３０）と、
前記対象送風部と前記非対象送風部とに送り込む空気を切り替える空気切替部（４０）と、を備え、
前記空気切替部は、
前記冷風が前記対象送風部に送り込まれ、前記暖風が前記非対象送風部に送り込まれる冷風供給状態と、前記暖風が前記対象送風部に送り込まれ、前記冷風が前記非対象送風部に送り込まれる暖風供給状態と、を切り替え、
前記送風装置は、冷凍サイクルを構成するエバポレータ（１３）及びコンデンサ（１２）を有し、
前記冷風は、冷媒を蒸発させるエバポレータを空気が通ることによって供給され、
前記暖風は、前記冷媒を凝縮するコンデンサを空気が通ることによって供給され、
前記空気切替部は、
前記エバポレータと前記対象送風部との間を開放する一方で、前記エバポレータと前記非対象送風部との間を閉塞することで前記冷風を前記対象送風部に送り込み、前記コンデンサと前記非対象送風部との間を開放する一方で、前記コンデンサと前記対象送風部との間を閉塞することで前記暖風を前記非対象送風部に送り込む前記冷風供給状態と、
前記エバポレータと前記非対象送風部との間を開放する一方で、前記エバポレータと前記対象送風部との間を閉塞することで前記冷風を前記非対象送風部に送り込み、前記コンデンサと前記対象送風部との間を開放する一方で、前記コンデンサと前記非対象送風部との間を閉塞することで前記暖風を前記対象送風部に送り込む前記暖風供給状態と、を切り替え、

前記送風装置は、前記エバポレータから供給される前記冷風を吹き出す冷風口（２３，２４）、及び前記コンデンサから供給される前記暖風を吹き出す暖風口（２１，２２）が設けられた開口板（１０２）を有し、
前記空気切替部には、前記対象送風部及び前記非対象送風部と前記エバポレータ及び前記コンデンサとの間を開放する開放部（４１，４２）、及び前記対象送風部及び前記非対象送風部と前記エバポレータ及び前記コンデンサとの間を閉塞する閉塞部（４３）が設けられ、
前記空気切替部は、前記開口板に沿って回転する平板状に構成され、回転することによって前記冷風供給状態と前記暖風供給状態とを切り替える、空調機。
【請求項２】
空調機であって、
冷風と暖風とを同時に吹き出すことが可能な送風装置（１０）と、
空調対象となる空間に送風する対象送風部（３１）及び空調対象とはならない空間に送風する非対象送風部（３２）を有する送風ダクト（３０）と、
前記対象送風部と前記非対象送風部とに送り込む空気を切り替える空気切替部（４０）と、を備え、
前記空気切替部は、
前記冷風が前記対象送風部に送り込まれ、前記暖風が前記非対象送風部に送り込まれる冷風供給状態と、前記暖風が前記対象送風部に送り込まれ、前記冷風が前記非対象送風部に送り込まれる暖風供給状態と、を切り替え、
前記送風装置は、冷凍サイクルを構成するエバポレータ（１３）及びコンデンサ（１２）を有し、
前記冷風は、冷媒を蒸発させるエバポレータを空気が通ることによって供給され、
前記暖風は、前記冷媒を凝縮するコンデンサを空気が通ることによって供給され、
前記送風装置は、前記エバポレータ及び前記コンデンサに同時に空気を送り込むファン（１１）を有し、
前記ファンは遠心ファンであって、前記エバポレータ及び前記コンデンサが、前記ファンの回転軸方向から見て前記ファンを囲うように配置されている、空調機。
【請求項３】
前記ファンの回転軸方向から見て、前記エバポレータが配置されている領域と、前記コンデンサが配置されている領域とが区分されている、請求項２記載の空調機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上記課題を解決するために、本発明の一態様に係る空調機は、冷風と暖風とを同時に吹き出すことが可能な送風装置（１０）と、空調対象となる空間に送風する対象送風部（３１）及び空調対象とはならない空間に送風する非対象送風部（３２）を有する送風ダクト（３０）と、対象送風部と非対象送風部とに送り込む空気を切り替える空気切替部（４０）と、を備える。空気切替部は、冷風が対象送風部に送り込まれ、暖風が非対象送風部に送り込まれる冷風供給状態と、暖風が対象送風部に送り込まれ、冷風が非対象送風部に送り込まれる暖風供給状態と、を切り替える。送風装置は、冷凍サイクルを構成するエバポレータ（１３）及びコンデンサ（１２）を有する。冷風は、冷媒を蒸発させるエバポレータを空気が通ることによって供給され、暖風は、冷媒を凝縮するコンデンサを空気が通ることによって供給される。空気切替部は、エバポレータと対象送風部との間を開放する一方で、エバポレータと非対象送風部との間を閉塞することで冷風を対象送風部に送り込み、コンデンサと非対象送風部との間を開放する一方で、コンデンサと対象送風部との間を閉塞することで暖風を非対象送風部に送り込む冷風供給状態と、エバポレータと非対象送

風部との間を開放する一方で、エバポレータと対象送風部との間を閉塞することで冷風を非対象送風部に送り込み、コンデンサと対象送風部との間を開放する一方で、コンデンサと非対象送風部との間を閉塞することで暖風を対象送風部に送り込む暖風供給状態と、を切り替える。送風装置は、エバポレータから供給される冷風を吹き出す冷風口（２３，２４）、及びコンデンサから供給される暖風を吹き出す暖風口（２１，２２）が設けられた開口板（１０２）を有する。空気切替部には、対象送風部及び非対象送風部とエバポレータ及びコンデンサとの間を開放する開放部（４１，４２）、及び対象送風部及び非対象送風部とエバポレータ及びコンデンサとの間を閉塞する閉塞部（４３）が設けられている。空気切替部は、開口板に沿って回転する平板状に構成され、回転することによって冷風供給状態と暖風供給状態とを切り替える。

本発明の他態様に係る空調機は、冷風と暖風とを同時に吹き出すことが可能な送風装置（１０）と、空調対象となる空間に送風する対象送風部（３１）及び空調対象とはならない空間に送風する非対象送風部（３２）を有する送風ダクト（３０）と、対象送風部と非対象送風部とに送り込む空気を切り替える空気切替部（４０）と、を備える。空気切替部は、冷風が対象送風部に送り込まれ、暖風が非対象送風部に送り込まれる冷風供給状態と、暖風が対象送風部に送り込まれ、冷風が非対象送風部に送り込まれる暖風供給状態と、を切り替える。送風装置は、冷凍サイクルを構成するエバポレータ（１３）及びコンデンサ（１２）を有している。冷風は、冷媒を蒸発させるエバポレータを空気が通ることによって供給され、暖風は、冷媒を凝縮するコンデンサを空気が通ることによって供給される。送風装置は、エバポレータ及びコンデンサに同時に空気を送り込むファン（１１）を有している。ファンは遠心ファンであって、エバポレータ及びコンデンサが、ファンの回転軸方向から見てファンを囲うように配置されている。